



2019年10月31日

各 位

上場会社名 西部電機株式会社
 代表者 代表取締役社長 宮地 敬四郎
 (コード番号 6144)
 問合せ先責任者 専務取締役管理担当 藤岡 敬正
 (TEL 092-943-7071)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,750	360	395	275	18.15
今回修正予想(B)	10,604	756	814	404	26.70
増減額(B-A)	854	396	419	129	
増減率(%)	8.8	110.0	106.1	46.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	10,325	660	704	459	30.31

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,200	1,480	1,560	1,080	71.29
今回修正予想(B)	24,000	2,290	2,410	1,500	99.01
増減額(B-A)	1,800	810	850	420	
増減率(%)	8.1	54.7	54.5	38.9	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	29,299	3,198	3,328	2,283	150.71

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきまして、売上高は、搬送機械、産業機械で前年同期に比べ増加した一方、精密機械は米中貿易摩擦などの影響により減少しましたが、サービスマンテの強化や、高精密研削加工機械等が健闘し、当初見込みを上回ることができ、全体としては、当初見込み及び前年同期実績を若干上回る実績となりました。

また、営業利益、経常利益は、搬送機械を中心とした売上高の増加や、産業機械や精密機械でコストダウン、経費の削減が進んだことにより、前年を上回るとともに、当初予想を大幅に上回りました。

これに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益においては、投資有価証券の評価損等がありましたものの、当初予想に比べ46.9%の増加となりました。

なお、通期の業績予想につきましても、上記実績並びに、営業見直しをもとに売上高及び各利益を見直しております。

(注)本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上